

会議録要旨

日時：令和8年8月4日（火）16:56～17:58

場所：都志小学校1階会議室

出席者：学校運営協議会委員、学校職員、教育委員会職員

【委員からの主な意見】※

●統廃合の方向性について

- ・児童数の減少により、統廃合はやむを得ない時期に来ている。メリットを最大限に活かし、デメリットの改善策を講じながら、統廃合の方向で検討を進めてほしい。

●統合のメリット

- ・多様な友人関係の形成や競争心の醸成、集団スポーツの実施が可能になる。
- ・教育施設・環境の充実や、教員不足の解消・負担軽減が期待できる。
- ・教員に余裕ができることで、児童と向き合う時間が増える。

●統合のデメリット・懸念事項

- ・環境変化による心理的ストレスや孤立・不登校のリスクがある。
- ・スクールバス通学になると、子どもたちが地域を歩く機会が失われ、地域住民との交流や地域への愛着が薄れる恐れがある。

●統合の組み合わせ・段階的統合について

- ・段階的に統合する方が、児童の心理的負担が少なくてよいのではないか。
- ・事務局案（広石・鳥飼・堺を先行統合）に対し、都志と鳥飼を統合する案も提案された。都志・鳥飼はともに船だんじりなど海岸部の共通した文化・祭礼を持ち、文化的親和性が高い。また、海岸沿いに教育機関を残すことができ、統合前後に都志の子どもたちが少人数の環境に置かれ続けることを避けられる。
- ・都志と鳥飼は、共通した文化があるとの意見もあるが、後に鮎原と統合する方が現実的ではないか。

●地域文化・地域密着型学習の継承

- ・都志小学校では、高田屋嘉兵衛に関する学習やだんじり唄、河川・河口の環境学習など、地域に根ざした教育活動が行われている。統合後もこれらが継続できるよう配慮してほしい。

- ・子どもの人数が多い方が、地域の伝統・文化を継承していく気風が育まれる。
- ・地域の伝統文化を継承する気風は、それぞれの地域で受け継ぐものを合わせていく難しさもあるが、新しい可能性もある。

●地域の活性化・人口減少対策

- ・子どもの減少は若い親世代の減少と直結しており、根本的な原因は地域内の雇用不足にある。「地元で仕事があれば戻りたい・住み続けたい」という若者の声があり、学校統廃合への対応と並行して、雇用創出・定住促進にも力を入れてほしい。

●学校施設の跡地利用

- ・都志小学校は、借地がなく、広い運動場・体育館・プールを有しており、統合後も施設を壊さず有効活用してほしいというのが地域住民の声である。

●通学路の安全（自転車通行）について

- ・都志から五色中学校への通学路（大日付近）において、歩道を自転車で通行できる標識がなく、生徒が車道を走らざるを得ない状況が生じている。歩道の自転車通行を可能にする標識の早急な設置を求める。